

県下の交通事故 (2月29日現在)

区分	事故件数	死者	傷者
50年	572件	20人	773人
51年	560	18	734
比較	-2.1%	-10.0%	-5.0%



第32号

発行所

甲府市丸の内一丁目6-1
財団法人山梨県交通安全協会
TEL 甲府 (0552) (35) 2121 内線328-339

春の全国交通安全運動

4月6日～4月15日

ゆっくり運転を推進

春の全国交通安全運動は、四月六日から十五日までの十日間、全国一斉に実施されることになりました。運動の重点は、歩行者や自転車利用者などの弱者保護と、シートベルトの着用ですが、本県ではこれに加えて、引き続き「ゆっくり運転」を推進することになっています。本県の実施要綱は次のとおりです。

交通弱者の保護対策とシートベルトの着用を

実施要綱

〔目的〕交通安全思想の周知徹底を図り、県民総ぐるみの実践活動を推進することにより、交通事故を防止することを目的とする。

〔実施期間〕四月六日(火)から四月十五日(木)までの十日間。

〔運動の重点〕①歩行者、とくに子どもと老人の事故防止。②自転車利用者の事故防止。③ゆっくり運転の推進。④シートベルト着用の推進。

〔実施事項〕①歩行者、とくに子どもと老人の事故防止として交通安全教育を推進し、母と子どもと老人の交通安全教育、新入学児の交通安全教育、学校などにおける交通安全教室、家庭運動会、街頭での「愛の一声」運動を推進する。また生活ゾーン対策として、スクールゾーンの整備充実、商店街、住宅街等における歩行者安全対策を推進する。

②自転車利用者の事故防止として、正しい自転車の乗り方の励行を図るために自転車教室の開催、自転車の点検整備、反射器材の取り付け、体に合った自転車利用の推進を図る。

③ゆっくり運転の推進として、安全速度、規制速度による走行、徐行または停止の励行、歩行者横断時の



ゆっくり走ろうカメのように……櫛形町で

く子どもと老人の事故防止として交通安全教育を推進し、母と子どもと老人の交通安全教育、新入学児の交通安全教育、学校などにおける交通安全教室、家庭運動会、街頭での「愛の一声」運動を推進する。また生活ゾーン対策として、スクールゾーンの整備充実、商店街、住宅街等における歩行者安全対策を推進する。

②自転車利用者の事故防止として、正しい自転車の乗り方の励行を図るために自転車教室の開催、自転車の点検整備、反射器材の取り付け、体に合った自転車利用の推進を図る。

③ゆっくり運転の推進として、安全速度、規制速度による走行、徐行または停止の励行、歩行者横断時の



母と子の交通安全教室……英和幼稚園で

停止等、ゆとりのある運転につとめる。また、交通五悪追放のため、運転者教育

と指導取り締まりを実施する。

④シートベルト着用の推進として、ベルト着用の習慣づけと高速道や長距離運転時のベルト必着を図る。

⑤広報活動の推進として運動の成果を高めるためにラジオ、テレビ、有線放送、チラシ、ステッカー、広報紙、新聞、広報紙(誌)、広報車、ステッカー、広報ポスター等を活用して周知徹底を図る。

あなたがお手本です

新入学児を持つお母さんへ

子どもはつねに大人のまねをするものです。大人が車道を歩いたり、禁止場所で横断するとすくまねをします。また、子どもは目的にひっぱられます。面白いものがあると、いきなり道の中央へとび出します。お母さん方は、子どもの行動特性をふまえて、いつも模範を示すようにして、し

っかりしつけをしてほしいものです。

▽子どもの服装と所持品
子どもは動作がのろいので、身がかるに、動きやすい軽快な服装をさせてください。黄色の帽子、レインコート、雨がさなで使うのも、のぞましいことです。

▽具体的に教えること
一緒のときには、自宅の

周辺や通園・通学路で注意する場所はどこか、なぜあぶないか、どうすることがあぶないか、どうすれば安全かなど現地でも納得のいくよう教えることです。

▽とくに横断の訓練を
歩行者の事故の大半が道路を横断するときの起きます。

横断は必ず立ち止まって

右を見、つぎに左を見、さらにもう一度右を見て安全を確認する。信号の変わりめはとくに注意、信号の終わりと始まりが危険のポイントで、青でも変わりそうなのは次の信号を待つことが安全です。信号が変わるとすく駆け出して渡るの

は、もって危険です。

手をとる際には、運転者の目を見てください。運転者は必ず歩行者を見ているとは限らないのです。

▽飛び出しが多い
止まっている自動車の陰や、遊びに夢中になっているときなど、子どもはうっかり飛び出すものです。道へ出るときは常に止まって安全を確認する習慣をつけ

たいものです。

▽こんな心づかいを
一緒に道を歩くときは保護者が車の通る側を歩くようにする。手を取るときは右手で子どもの左手をしっかりと握る。バスなど車に乗るときは子どもを先に乗せ降りるときは保護者が先に降りるこれが基本です。

▽母親の愛としつけで
自己中心的なものの考え方を持たせ、自分の感情、情緒に行動が支配されてしまっているのを、好奇心が強く、応用がきかないという特性を念頭において、よく安全の知識を教えてあげてください。自分の感情だけで子どもを叱る母親は問題です。

交通協力者に見舞金

南部・富沢両町でも条例制定

身延町で、交通安全協会員等が、交通行政に協力して活動中に死傷した場合、町の条例によって交通安全見舞金をその本人または遺族に支給することについては、先にくわしく紹介しましたが、この問題については、あくまで過渡期的措置であり、最小限のものであり、最も限りの措置であるとして、町独自ではじめて公的補償の途を開いたものとして、関係方面の話題をよんでいます。

このことについては、南部町でもこの制度をとり入れ町議会の議決を得て「南部町交通安全指導協力者に対する災害見舞金の支給に関する条例」を制定しました。内容は、身延町と全く同じものですが、このように、交通安全活動中や交通指導の任務遂行中に被った不慮の災害に対し、次々と援助規定がつけられることはよろこばしいことです。

なお、富沢町でもこれに次いで同様の条例を制定しました。

イヌの横断



この間、道を歩いていてイヌが道を横断するところを見た。車の往來の激しいところである。私も歩道で左右の車を見ながら渡ろうとしていた。イヌも歩道に立ち止まって、右を見、左を見、そしてまた右を見てそれからゆっくり渡り始めた。渡りながらも左右をながめていた。渡りきるまで何回も左右を確認しているのには感心した。

イヌの事故死は、ネコにくらべてどうであろう。私はネコの方が多く外に出ないからイヌにくらべて第一訓練が足りない。ネコの方がすばしいから本当は事故は少ないはずだが、まるが追いかけるように横断することが多い。ネコはさつと飛び出したり、前に進むことは素早い、爪の関係でステップがきまぐれなのか、バックがうまくできないようである。イヌより事故死が多いとすれば、こんなことが原因だろうか。イヌの事故死の実態はどうだろうか。このころは犠牲体をあまり見かけなくなってきた。ネコの方は時折りうんざりするようなのを見かけるのだが、イヌが交通事情を覚えたのだろうか、交通事故にあうイヌとネコの差、そして前記のイヌの態度など大いに学ぶべきところがあると思う。

イヌは信号を見て渡ってはいない。信号の意味がわかるとは思えない。人間は信号を見て青信号で渡っているのだから、急いで渡ってはいないが、「青だから」ということだけで、左右を見るのを忘れてはいないだろうか。イヌが、絶えず周囲に万全の注意を払っているのを見て、横断に油断があってはならないと思う。油断なく心をひきしめてお互いに事故を起さぬようにしたい。

交通死者の半減誓う

第16回国民運動中央大会

国民総ぐるみで、交通安全の防止を図ろうと、第十六回交通安全国民運動中央大会が、全日本交通安全協会と都道府県交通安全協会主催のもとに、一月十九、二十日の両日にわたり開催された。



中央大会 (2,000人の参加者が日比谷公会堂を埋めた)

一日目は四部会に分れ、それぞれの立場から意見発表が行われ、二日目の本会議は常陸宮・同妃殿下のご臨席を仰ぎ、東京日比谷公会堂に全国から約二千人が参加して盛大に開かれました。

ここにわれわれは、第十六回交通安全国民運動中央大会を開催するにあたり、決意を新たに、今年も、さらに、交通安全を推進するために、次の安全対策の推進を誓う。

- 一、幼児と老人をとりまく交通環境の改善、とくに、幼児については母親を通じて、保護と教育の普及
- 二、小、中学生を中心に自転車の安全教育
- 三、青少年に二輪車の安全教育
- 四、運転者とこれを雇用する企業等に対し安全運転の励行
- 四、シートベルト、ヘルメット着用の普及

昭和五十一年一月二十日
第十六回交通安全国民運動中央大会
右宣言する。

市町村道で大幅に増加
道路別では、国道が横ばい、県道は減少、市町村道は大幅に増加し、道交死の増加をみせています。土曜日の発生がしばしば多く、次いで日・金と週末に多発傾向がみられます。午後四時から十時までは、薄暮から宵にかけてがいちばん危険なときです。

死亡事故の特徴
このころは二十人で五人増、老人は三十五人で同じく五人増、高校生は九人で二人増と、いずれも増加しています。

死亡事故を起した法令違反は、速度違反が断然多く、歩行者妨害、追越不適、酒酔い等悪質粗悪運転によるものが上位を占めているのが目立ちます。

交通事故 四年連続して減る

だが危険率は全国二位

交通事故はここ数年、全国的には減少傾向を続け、昨年の死者数は昭和三十五年以降最低となりました。これは、自動車保有台数の増加にもかかわらず、五年連続の減少記録です。

依然として高く、茨城県に次いで全国第二位です。このように、住民の危険度が非常に高いことからみると減少したからと言って手はなして喜んではいられない展開しています。

死亡事故を起した法令違反は、速度違反が断然多く、歩行者妨害、追越不適、酒酔い等悪質粗悪運転によるものが上位を占めているのが目立ちます。

死亡事故を起した法令違反は、速度違反が断然多く、歩行者妨害、追越不適、酒酔い等悪質粗悪運転によるものが上位を占めているのが目立ちます。

死亡事故を起した法令違反は、速度違反が断然多く、歩行者妨害、追越不適、酒酔い等悪質粗悪運転によるものが上位を占めているのが目立ちます。

お言葉

わが国における交通安全は、政府や地方自治体の交通安全対策の充実と、国民のたゆみない努力によって、昭和四十六年以降減少を続け、昨年また相対的減少を見たことは、誠に喜ばしいことではないかと、その死傷者は年間おおよそ十万人にのぼり、なかでも子供の交通事故が多いことは憂慮にたえないところでもあります。

本県関係の受賞者は次のとおりです。
受賞者の長い間の交通安全活動の功績に対し、深く敬意を表するとともに、晴れの榮譽をたたえます。

本県関係の受賞者は次のとおりです。
受賞者の長い間の交通安全活動の功績に対し、深く敬意を表するとともに、晴れの榮譽をたたえます。

交通安全優良団体
日下部交通安全母の会
(会長 河野 琴子)
交通安全優良学校
甲府市立大里小学校
(校長 丸山 茂頼)

交通安全優良個人
長坂交通安全協会
(会長 山本 滋)
交通安全優良個人
日下部交通安全母の会
(会長 河野 琴子)

交通安全優良個人
長坂交通安全協会
(会長 山本 滋)
交通安全優良個人
日下部交通安全母の会
(会長 河野 琴子)

交通安全優良個人
長坂交通安全協会
(会長 山本 滋)
交通安全優良個人
日下部交通安全母の会
(会長 河野 琴子)

交通安全優良個人
長坂交通安全協会
(会長 山本 滋)
交通安全優良個人
日下部交通安全母の会
(会長 河野 琴子)

交通安全優良個人
長坂交通安全協会
(会長 山本 滋)
交通安全優良個人
日下部交通安全母の会
(会長 河野 琴子)



山本滋さん
緑十字銀章
に輝く

第十六回交通安全国民運動中央大会で、永年交通安全に尽力した功績により、警察庁長官・全日本交通安全協会会長から「交通安全緑十字銀章」を贈られました。

第十六回交通安全国民運動中央大会で、永年交通安全に尽力した功績により、警察庁長官・全日本交通安全協会会長から「交通安全緑十字銀章」を贈られました。

第十六回交通安全国民運動中央大会で、永年交通安全に尽力した功績により、警察庁長官・全日本交通安全協会会長から「交通安全緑十字銀章」を贈られました。

第十六回交通安全国民運動中央大会で、永年交通安全に尽力した功績により、警察庁長官・全日本交通安全協会会長から「交通安全緑十字銀章」を贈られました。

第十六回交通安全国民運動中央大会で、永年交通安全に尽力した功績により、警察庁長官・全日本交通安全協会会長から「交通安全緑十字銀章」を贈られました。

第十六回交通安全国民運動中央大会で、永年交通安全に尽力した功績により、警察庁長官・全日本交通安全協会会長から「交通安全緑十字銀章」を贈られました。

第十六回交通安全国民運動中央大会で、永年交通安全に尽力した功績により、警察庁長官・全日本交通安全協会会長から「交通安全緑十字銀章」を贈られました。

第十六回交通安全国民運動中央大会で、永年交通安全に尽力した功績により、警察庁長官・全日本交通安全協会会長から「交通安全緑十字銀章」を贈られました。

第十六回交通安全国民運動中央大会で、永年交通安全に尽力した功績により、警察庁長官・全日本交通安全協会会長から「交通安全緑十字銀章」を贈られました。

第十六回交通安全国民運動中央大会で、永年交通安全に尽力した功績により、警察庁長官・全日本交通安全協会会長から「交通安全緑十字銀章」を贈られました。

第十六回交通安全国民運動中央大会で、永年交通安全に尽力した功績により、警察庁長官・全日本交通安全協会会長から「交通安全緑十字銀章」を贈られました。

第十六回交通安全国民運動中央大会で、永年交通安全に尽力した功績により、警察庁長官・全日本交通安全協会会長から「交通安全緑十字銀章」を贈られました。

第十六回交通安全国民運動中央大会で、永年交通安全に尽力した功績により、警察庁長官・全日本交通安全協会会長から「交通安全緑十字銀章」を贈られました。

あなたの写真をどうぞ

第10回交通安全写真コンテスト募集要綱

締め切りは
8月15日

交通安全写真コンテストの募集要綱を、次のとおり行います。

交通安全写真コンテストの募集要綱を、次のとおり行います。

交通安全写真コンテストの募集要綱を、次のとおり行います。

交通安全写真コンテストの募集要綱を、次のとおり行います。

交通安全写真コンテストの募集要綱を、次のとおり行います。

交通安全写真コンテストの募集要綱を、次のとおり行います。

交通安全写真コンテストの募集要綱を、次のとおり行います。

交通安全写真コンテストの募集要綱を、次のとおり行います。

交通安全写真コンテストの募集要綱を、次のとおり行います。

交通安全写真コンテストの募集要綱を、次のとおり行います。

交通安全写真コンテストの募集要綱を、次のとおり行います。

交通安全写真コンテストの募集要綱を、次のとおり行います。

交通安全写真コンテストの募集要綱を、次のとおり行います。

交通安全写真コンテストの募集要綱を、次のとおり行います。

交通安全写真コンテストの募集要綱を、次のとおり行います。

交通安全写真コンテストの募集要綱を、次のとおり行います。

交通安全写真コンテストの募集要綱を、次のとおり行います。

交通安全写真コンテストの募集要綱を、次のとおり行います。

交通安全写真コンテストの募集要綱を、次のとおり行います。

交通安全写真コンテストの募集要綱を、次のとおり行います。

交通安全写真コンテストの募集要綱を、次のとおり行います。

交通安全写真コンテストの募集要綱を、次のとおり行います。

交通安全写真コンテストの募集要綱を、次のとおり行います。

交通安全写真コンテストの募集要綱を、次のとおり行います。

交通安全写真コンテストの募集要綱を、次のとおり行います。

交通安全写真コンテストの募集要綱を、次のとおり行います。

交通安全写真コンテストの募集要綱を、次のとおり行います。

交通安全写真コンテストの募集要綱を、次のとおり行います。

交通安全写真コンテストの募集要綱を、次のとおり行います。

交通安全写真コンテストの募集要綱を、次のとおり行います。

交通安全写真コンテストの募集要綱を、次のとおり行います。

交通安全写真コンテストの募集要綱を、次のとおり行います。

交通安全写真コンテストの募集要綱を、次のとおり行います。

交通安全写真コンテストの募集要綱を、次のとおり行います。

交通安全写真コンテストの募集要綱を、次のとおり行います。

交通安全写真コンテストの募集要綱を、次のとおり行います。

交通安全写真コンテストの募集要綱を、次のとおり行います。

交通安全写真コンテストの募集要綱を、次のとおり行います。

交通安全写真コンテストの募集要綱を、次のとおり行います。

交通安全写真コンテストの募集要綱を、次のとおり行います。

交通安全写真コンテストの募集要綱を、次のとおり行います。

交通安全写真コンテストの募集要綱を、次のとおり行います。

交通安全写真コンテストの募集要綱を、次のとおり行います。

交通安全写真コンテストの募集要綱を、次のとおり行います。

交通安全写真コンテストの募集要綱を、次のとおり行います。

交通安全写真コンテストの募集要綱を、次のとおり行います。

交通安全写真コンテストの募集要綱を、次のとおり行います。

交通安全写真コンテストの募集要綱を、次のとおり行います。

交通安全写真コンテストの募集要綱を、次のとおり行います。

交通安全写真コンテストの募集要綱を、次のとおり行います。

あなたは天国 家族は地獄

飲酒運転を考える

絶滅へ「三つの勇気」

なによりも本人の自覚を

飲酒運転は、交通五悪のうち最も悪質で、重大事故につながる極めて危険なものです。飲酒運転の追放運動もかなり浸透し、「飲んだら乗るな・乗るなから飲むな」は、日常の合言葉のようになり、飲酒運転を「しない・させない」という社会慣行が確立されようとしているのに、いまだに飲酒運転による重大悪質事故が後を断たないのは、一体どうしたことなのでしょう。

す。

二月十七日の夜、増穂町で、工場長と従業員四人が乗っていた軽トラックが、飲酒・スピード超過の果てに停車中のトラックに追突し四人死傷という惨事がありました。この人たちは、仕事帰りに飲食店で日本酒を二十本も飲んだあと、さらに車で次の店へ飲みに行く途中だったのです。もう一軒の店へ飲みに行くというので、飲食店の主人が「タクシーを呼ぶから」というのを断って、車を運転して行ったということです。しかも、運転していたのは、責任ある工場長だということですからあきれるばかりです。

県警本部の調査によると飲酒運転の動機でいちばん多いのが「友人とのつきあい」次いで「会議・宴会」「晩酌」となっています。人にさそわれたり、すめられた飲酒運転よりも、「自分が飲みたくて、つい」という内容のものが多いいは、やはりなんといつても本人の自覚がいちばんたいせつということになります。

飲酒運転はこんなに損

飲酒運転により交通事故を起こしたり、違反をした場合には、強い社会的非難を受け、その責任を問われることとなります。刑事上の責任は、重大な責任を問われ、五年以下の懲役または禁錮の重刑になります。また、行政上の責任は、違反

ちやん



反だけで十二点となり、事故の場合は取消しか長期の停止となります。とくに酒酔いの死亡、ひき逃げの場合は、前歴がなくとも三年の資格となります。さらに、民事上の責任は、加害者側の責任が重大となり、損害賠償は一生かかっても償いきれないような、たいへんなこととなります。なにより悲しいことは、金銭的な苦難よりも、死んだ人は生き返らないし、傷ついたからだが完全にもとにもどらないという生涯の苦悩を背負うこととなります。

交通安全と酒の悪習

藤井 安雄
前略、交通安全と酒の悪習についてお願いを申しあげたく、ここに筆を取る次第です。

声

私の父は、電気工事業を営む者ですが、お得意様や工事をくださった方などから酒をすすめられることがしばしばあります。一応は断るのですが、酒に断れない者程むりじりしてきます。時には断わりきらず口をつけることもありませぬ。そんなときは車を置いて来ればよいのかも知れませぬ。しかし、当てつけがましからざる、翌日の仕事にさしつかえるのと、何よりも仕事仲間がそれによって迷惑したのでは個人営業をする者にとっては死活問題となります。やむを得ず、無理をして運転せざるをえなくなるのです。

飲酒運転により交通事故を起こしたり、違反をした場合には、強い社会的非難を受け、その責任を問われることとなります。刑事上の責任は、重大な責任を問われ、五年以下の懲役または禁錮の重刑になります。また、行政上の責任は、違反

「三つの勇気」を提案します。第一に、こらえる勇気をもつことです。飲みたい気持ちを我慢して、己に克つ勇気をもつことです。第二に、こたわる勇気をもつことです。誘われても断る勇気をもつことです。第三は、すすめない勇気をもつことです。無責任な勧めは、相手を誤らせ、身を破滅に押しやることには非情に徹する勇気をもたねばなりません。

職人仲間の多くが、こういったお客様などのむりじりに悩んでおります。こういう問題は職人ばかりではないはずで、サラリーマンでも、たれでもあることでしょう。そして、日本ほど酒にだらしない国はないと聞きます。どうか、車を運転する人に、酒のむりじりは絶対にやめてください。(公務員 二十六歳)



飲酒運転による致死率は高い

シートベルトを着けよう

こわい二次衝突 運転の新しいマナーに

シートベルトの備え付け義務については、道路運送車両法第四十一条や保安基準第二十二條の三に、着用義務については道路交通法第七十五條の十一に規定されています。現在ほとんどの車にシートベルトが備え付けられていますが、実際にシートベルトを着用している率はきわめて低く、着用義務づけられている高速道路においでさえ六パーセントというお寒い結果がまいったく無関心というのが実態です。

「運転しにくい」「四十キロ程度では」「つけるのを忘れた」など消極的理由をあげています。なかには「緊急の場合すぐ脱出できるか」と言うものもありますが、これは事故例や実験からみても全くいられない誤解で、ベルトの着脱は一秒以内で緊急脱出に全く支障はありません。「運転しにくい」というのは反対で、ベルトを着用した方が運転姿勢が正しく保持され、疲労も少ないという結論が出ています。また、「四十キロ程度なら、安全運転だから」というのも無理解からくるもので、衝撃力は速度の二乗に比例して一瞬に発生する大きな破壊力となることを知らなければなりません。自動車乗車中、車内の人間が死亡するいわゆる棺桶型と呼ばれる事故死は、全死者の三五パーセントに達しています。このような車内における事故死は、車の衝突の際の衝撃自体によるものではなく、その後における二次衝突によって引き起こされるものがほとんどです。車は衝突すると止まるが、車内の人間の身体はもうすぐい勢いで車内のどこかにたたきつけられ、その際、ハンドルや胸を打ちたり、計器に頭や胸をたたきつけられたり、フロントガラスに頭を突っ込んだり、あるいは車外にほうり出されて路面に頭を打ちつけたりして死亡しているのです。

自動車のシートベルトはこのような交通事故の際の二次衝突の被害を最小限度にしようとするものです。シート着用で事故は軽減され、時速四十キロのスピードで障害物に衝突する実験で車の中のダミー(人形)はシートベルトを着用していても、前方に倒れることなく、シートベルトを着用していない方はフロントガラスに頭部を打ちつけて即死の状態でした。実際の事故事例でも、ベルトを着用していたため、命が助かったものばかり立証されています。シート着用は安全の習慣です。



シートベルトは安全の習慣です

県安協の交通安全祈願祭

山梨県交通安全協会では、1月8日武田神社において、交通安全祈願祭を行いました。中村太郎会長、鈴木誠之助県警本部長をはじめ、協会の役員、県警本部交通部の幹部、それに白バイ隊員も参加して、交通安全を祈願し、新年にあたり決意を新たにしたことと交通事故防止に層の努力を誓い合いました。

きびしくなる二輪車の免許

原付にも実技講習



ナナハンへの道は極めて厳しくなった

基本をしつかりと

合格者に即日警察署で

県警本部では、各署で行なっている原付免許試験の合格者に対し、四月一日から安全運転の実技講習を実施することになりました。

車道の運転免許は、法令等の学科試験と、実技試験の両方を行って合格するというのが原則ですが、現在は原付免許試験に限って、法令のペーパーテストだけで

合格という制度です。したがって、原付を全然手にしたことの少ない者でも試験に合格し、二輪車の原則も、基本操作も知らないまま乗り回すという不合理がありました。

最近の原付自動車は性能もよく、スピードもかなり速いので、事故につながるケースが多くなっているのです。

県下の、昭和五十年中の二輪車事故のうち六〇パーセントは原付自動車による事故です。また、二輪車による死者は二十八人で、そのうち

なんと十三人は原付によるもので、六五パーセントという高率です。

なお、事故の大部分が、原付免許一年以内というのも大きな特徴で、このうち、前記の事情が大きく事故につながっていることがわかります。

実技講習は、合格発表に引続いて合格者全員に対して実施することとし、場所、時間は二時間以内で、講習料は無料です。

講師には県二輪車安全運転推進委員会の指導員が当

たることになっています。講習内容は、①運転者の心得として、正しい装備と服装、②安全運転の知識として、実際に車両を使って正しい運転操作として運転の方法、二輪車の乗り方(七つの原則) 走行の基本(乗降方法・発進・停止・制動方法) 右左折および交差点の通行方法等二輪車の原則と基本を実地指導することになっています。

受講者は二週間後警察署に行き免許証の交付を受けることとなります。

死亡事故の頻発や、二部の暴走行為の対策として試験規制が強化されたものです。

合格者はたった一人

新設のナナハンテストの本県の受験者は、昨年十月一日改正以来本年二月までの五カ月間に六人、そのうち合格したのはたった一人(合格率一六パーセント)という成績でした。不合格者のほとんどは、体力がなくて倒れたオートバイを引き起こすことができない「センター・スタンドを自力で立てられない」「8の字に押し歩けない」など運転技術以前の段階で不適格者となっています。

ない十六、七歳の少年たちが、基本操作も覚えないうまで、重量が二百五十キロ

大型はナナハンテスト

暴走族の新兵を排除

自動二輪免許の新しい試験制度が実施されています。

従来二本立てであった自動二輪免許試験を小型、中型、大型の三種とし、とくに四〇〇ccを超える大排気量の二輪車を運転するた

めには、七五〇ccの試験車による厳しい実地試験を受けることになっています。

とくに大型二輪車の試験内容は大幅にレベルアップされ、大型車運転に必要な技術とモラルを要求したものに なっています。

たとえば、四〇〇ccを超える自動二輪車運転免許の技能試験は、先ず「ナナハン」による転倒車引き起こし、主スタンド立て、8の字押し回しを行い、次に「千メートルコース」の走行チェック、坂道コースの一

たえば、七五〇ccの試験車による自動二輪車運転免許の技能試験は、先ず「ナナハン」による転倒車引き起こし、主スタンド立て、8の字押し回しを行い、次に「千メートルコース」の走行チェック、坂道コースの一

消えた青春
16ミリ、カラー、三十分
二輪運転者、高校生向。
一人の青年の死を通じて二輪車の特性を教え、正しい運転技術を身につけて、他人を傷つけないことももちろん、自分を守る防衛運転に徹することを理解させるものです。

16ミリ、カラー、十五分
幼児・低学年向。
動物の村から二匹のパンダが町へ遊びに行きました。自動車のたくさん走っている町へ飛び出したため、交通ルールをなにも知らないパンダにとってはたいへん危険な目にあいました。
この映画は、こどもたちが親しみをもち、交通のきまりをマンガで理解しやすく、たのしく見せてくれます。

矢野寿男氏の著書「親をみりや僕の将来知れたも」は生徒の川柳、狂歌を集めたものだが、この中に「死者八名、わが家の夕食賑やかに」「大事故で誰かれともなく歓声が」「死者僅か、なぜか皆が」「かりし」等が、紹介されている。

現代子の交通安全意識、価値感が交通安全思想からみてマヒされているのかとおどろく。

直後と同じような違反で捕らわれるという事例は相対的である。行動的には、導かれるという事例は相対的である。しかし、当数ある。

江戸時代より「二八余り」は人の瀬越」ということわざがある。これは二八即ち十六才頃は人生の危機だと

性の実現からの逃避、離脱現象と考えられる。しかし、見かけは大人のような高校生も、人格形成からいえば、総合的な判断力に乏しい、感情のコントロール、自己判断の出来ない幼稚な、こ

は免許もないのに購入を黙認したり、深夜の乗り回しにも全然無関心で、また地域社会でもあれよあれよと無謀な高校生を運ぶだけ見守るだけである。このよう

問題とは、高校生の交通安全について、各地域や家庭での指導力、関心などの程度が異なる。性的非行やシンナー乱用防止に対する

念願のナナハンを手に入れた少年が、ある日彼女を乗せて仲間と猛スピードを出してカーブを曲り切れず対向車と衝突し死亡した事故を教訓とし、見るものに警鐘を与えます。

二 交通犯
前橋刑務所受刑者の手記から
16ミリ、カラー、三十分
交通事故を起こし、実刑を科せられた前橋刑務所の受刑者の生活を、加害者の立場から描いたドキュメンタリー映画です。
受刑者の手記をもとに、交通事故の恐ろしさと、悔しさを痛ましくいまでに見せてくれます。

三 パンダちゃんのごうつあんぜん
16ミリ、カラー、三十分
動物の村から二匹のパンダが町へ遊びに行きました。自動車のたくさん走っている町へ飛び出したため、交通ルールをなにも知らないパンダにとってはたいへん危険な目にあいました。
この映画は、こどもたちが親しみをもち、交通のきまりをマンガで理解しやすく、たのしく見せてくれます。

四 サツちゃん、ごめん
16ミリ、カラー、二十分
母親向。
幼児の交通事故防止は、幼児の保護と教育についてお母さんがいっしょに注意し、関心をもつことです。この映画は、若いお母さんの行動を通じて、問題点をわかりやすく解説してあります。

思春期の青年心理からみた高校生の交通問題

内藤好文



本県高校で、何回かの交通違反をくり返したうえで、事故死する生徒が何人かあり、毎年入院二カ月前以上の生徒も三十名を超し、事故に先だって何回かの違反を起している。違反で反則金を払い、その上にさらに学校での指導処置として謹慎をさせられ、十分反省した

いう意味であるが、高校進学率九四％という思春期の年ごろのほとんどの高校生に在学しているという今日、十六才前後の世代は、彼等のライフサイクルにおいて心理的にも最も不安定な年

と単車に関しては「けもの高校生」である。一方、家庭では、いやがましい動き回りたいたいの進学ぎらいの息子の気げをとり、学校では、この厳禁されている大型車を買い与えたり、ひどい父兄

は免許もないのに購入を黙認したり、深夜の乗り回しにも全然無関心で、また地域社会でもあれよあれよと無謀な高校生を運ぶだけ見守るだけである。このよう

問題とは、高校生の交通安全について、各地域や家庭での指導力、関心などの程度が異なる。性的非行やシンナー乱用防止に対する

念願のナナハンを手に入れた少年が、ある日彼女を乗せて仲間と猛スピードを出してカーブを曲り切れず対向車と衝突し死亡した事故を教訓とし、見るものに警鐘を与えます。

二 交通犯
前橋刑務所受刑者の手記から
16ミリ、カラー、三十分
交通事故を起こし、実刑を科せられた前橋刑務所の受刑者の生活を、加害者の立場から描いたドキュメンタリー映画です。
受刑者の手記をもとに、交通事故の恐ろしさと、悔しさを痛ましくいまでに見せてくれます。

三 パンダちゃんのごうつあんぜん
16ミリ、カラー、三十分
動物の村から二匹のパンダが町へ遊びに行きました。自動車のたくさん走っている町へ飛び出したため、交通ルールをなにも知らないパンダにとってはたいへん危険な目にあいました。
この映画は、こどもたちが親しみをもち、交通のきまりをマンガで理解しやすく、たのしく見せてくれます。

四 サツちゃん、ごめん
16ミリ、カラー、二十分
母親向。
幼児の交通事故防止は、幼児の保護と教育についてお母さんがいっしょに注意し、関心をもつことです。この映画は、若いお母さんの行動を通じて、問題点をわかりやすく解説してあります。

五 交通事故
16ミリ、カラー、二十八分、運転者向。
二つの交通事故例をもとに、いろいろ実験しながら事故原因を分析したもので、事故を防止するには諸々の交通環境のなかで、いくつかの悪条件が潜在している鎖のような輪を断ち切ることを教えています。